

# とらじんまのり

Tojinkyo SSKA

冬

No.244・2024 1.15

おもな記事

**特集** 東腎協第11回大会記念講演  
透析医療を取り巻く課題と展望 ..... 2

**速報** 能登半島地震の被害と対応 ..... 17



高尾山薬王院

**特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会**  
**(NPO 東腎協)**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556  
http://www.toujin.jp/ E-mail info@toujin.jp

年頭に  
あたって

## 「ウイズコロナ」の時代に即した、 活気ある患者会活動を



NPO 法人東京腎臓病協議会会長 戸倉 振一

あけましておめでとうござ  
います。会員の皆様におかれ  
ましては、健やかに新年を迎  
えられたこととお慶び申し上  
げます。

2020年から猛威を振る  
った新型コロナウイルス感染  
症は、私たちの生活や社会活  
動に大きな影響を与えました。  
約3年にわたるさまざまな感  
染対策と、それに伴う制限は、  
私たちの日常だけでなく、当  
会の活動にも大きな制約をも  
たらしました。

昨年5月に新型コロナウイルス  
感染症の感染症法の位置  
付けが「2類相当」から「5  
類」に移行されたことにより、  
基本的感染防止対策を実施し  
ながら、当会の活動も徐々に

再開していくことができまし  
たが、コロナ前のような活気  
を取り戻すにはまだ時間が必  
要なのかもしれません。この  
ような中ですが、「ウイズコ  
ロナ」の時代に即し、会員の  
皆様と共に、活気ある患者会  
を目指したいと思えます。

### 高額療養費見直し

国においては、本格的な「少  
子高齢化・人口減少時代」を  
迎える中で、「全世代型社会  
保障」の構築に向けた改革の  
議論が進められ、改革の道筋  
も示されました。社会保障制  
度の維持継続のために必要な  
改革ではありますが、この中  
には高額療養費自己負担限度  
額の見直しが言及されていま

す。この改革の取り組みの進  
捗を注視していきながら、今  
後も誰もが安心して透析が受  
けられる社会が継続されるよ  
うに、また腎臓病患者がより  
良く自立した生活を送り、社  
会参加していけるように活動  
を進めていきたいと思えます。

腎疾患対策については、平  
成30年に厚生労働省で取りま  
とめられた「腎疾患対策検討  
会報告書」に基づき、政府と  
して推進しており、様々な研  
究が進められています。昨年  
はその「中間評価と今後の取  
組について」が公表されまし  
た。成果目標としている「年  
間新規透析導入患者数を3万  
5千人以下に減少させる」に  
ついては、現状では約4万人

と横ばいで推移していること  
から、普及啓発、地域におけ  
る水準の向上、人材育成、研  
究開発の推進について、更に  
推進すべき事項が取りまとめ  
られ、東腎協としても、これ  
らの対策について患者の立場  
で進めていきたいと思えます。

### 災害時の透析医療確保

また、災害時の透析医療確  
保という課題にも引き続き取  
り組んでまいります。首都直  
下型地震や水害などの災害に  
備え、安心して透析治療を受  
けられる体制を整えることは、  
私たちの重要な課題です。東  
京都や透析医療ネットワーク  
との連携を強化し、地域レベ  
ルでの対策も推進してまいり  
ますので引き続きのご支援と  
ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。  
本年が皆様にとって幸せに  
満ちた一年でありますよう、  
心からお祈り申し上げます、新  
年の挨拶とさせていただきます。



明けまして

おめでとうございます

本年もよろしく

お願いいたします

NPO東京腎臓病協議会理事会一同

目次  
244号

新年のご挨拶・会長 戸倉振一……………表2	災害対策委員会 学習会……………15
東腎協第11回大会記念講演	速報・能登半島地震の被害と対応 ……17
透析医療を取り巻く課題と展望	年賀広告 ………………18
講師 安藤亮一先生 ………………2	事務局から ………………23
活動のまど ………………8	
第12回東京歩こう会 ………………14	第35回腎臓病を考える都民の集い ……表3

# 透析医療を取り巻く課題と展望

安藤亮一 先生 (東京都透析医会会長)

(医療法人社団石川記念会)

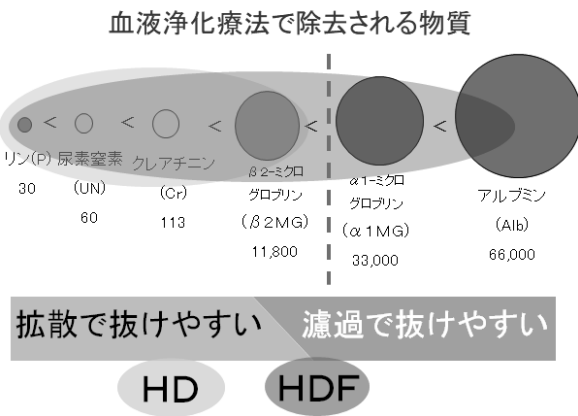
透析医療を取り巻く課題と展望ということで、透析医療に関しましては、いろいろと解決しなくてはいけない難しい課題というものは有りますが、それらについては時間の関係で全てでは有りませんが幾つか取り上げさせていただきます。すべて結論あるというものではなくて未解決、まだ答えの無いものまだ沢山あると思いますがこれについては考える機会を提供するとして頂ければと思います。

本日の内容は、1つは透析方法としてのオンラインHDF、新しい貧血治療薬のHIF-1PH阻害薬、そして高齢化に伴う透析患者さんのフレ

イルに対する腎臓リハビリテーション、SDM(シェアードデシジョンメイキング)共同意思決定、患者さんや家族の意思を尊重するという意味のSDM、患者さんからの報告に基づく患者報告アウトカム(結果、成果)PROについてお話しさせていただきます。そして透析医会が重要視しています災害対策・医療安全・感染症対策についても触れたいと思います。

## オンラインHDF

最初にオンラインHDFですが、血液ろ過透析(HDF)と血液透析(HD)の違いの



ひとつは抜ける分子量です。HDFの方がより大きな分子量の物質を取り除きます。腎代替療法を受けている患者さんの割合は、施設でHDFを受けている患者さんが50・7%と半分以上で、施設でHDを受けている患者さんが45・7%、腹膜透析が3・0%、在宅透析を受けている方は0・2%と非常に少ないです(21年透析医学会統計調査)。高齢者になるとHDFでなく、HDを受けている方が多

いのかもしませんが、先にもいいましたが、日本では、半分以上の方がHDFを受けています。HDFを受けている方のうちほとんどの方がオンラインHDFではないかと思えます。オンラインHDFはダイアライザーに入る前に大量の透析液の補液をしてから透析と大量のろ過をして体に戻すという方法です。大量のろ過によって大きな分子量の尿毒症物質を取ります。ダイアライザーの前に補液をする前希釈型という方法が日本では主流です。

一方、ヨーロッパなどで盛んに行われているHDFは透析とろ過をしてから、補液を後から補う後希釈型が主流です。また、間歇補充型(インターミットtent)の患者さんも増えています。常に補液をするのではなく定期的に例えば30〜60分一回補液をして希釈して、透析とろ過をする方法です。何故HDFが行われるよう

になったかと言いますと、透析の患者さんが困っている症状である、手指のしびれですとか足がイライラして休まない状態、関節痛、指のつまみ力の低下、痒み、透析困難症（透析をすると血圧低下など色々と具合が悪くなる）こういった症状が大きな分子量の物質を沢山体から抜けば抜くほど効果がある事が分かりました。

透析膜はだいぶ良くなっていますが、HDだけではなく、HDFによって、分子量の大きいものを抜くとこれらの症状の緩和に役に立つことが分かっています。

透析医学会の統計調査を使って、前希釈型のオンラインHDFと通常HDの効果と比較した研究があります。

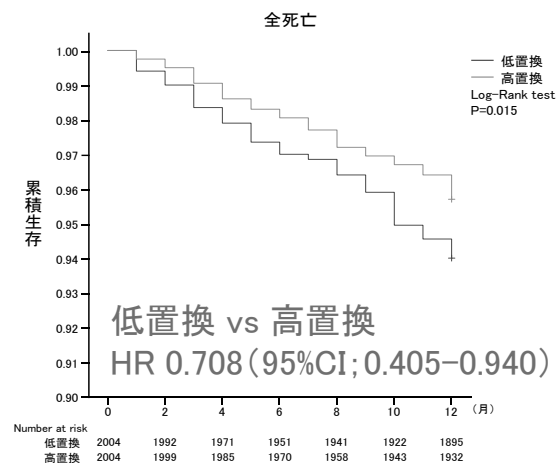
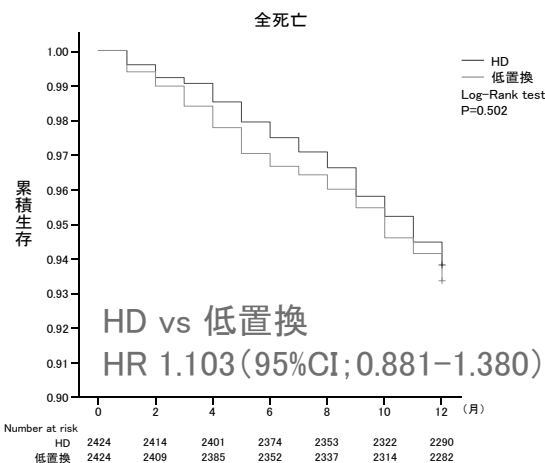
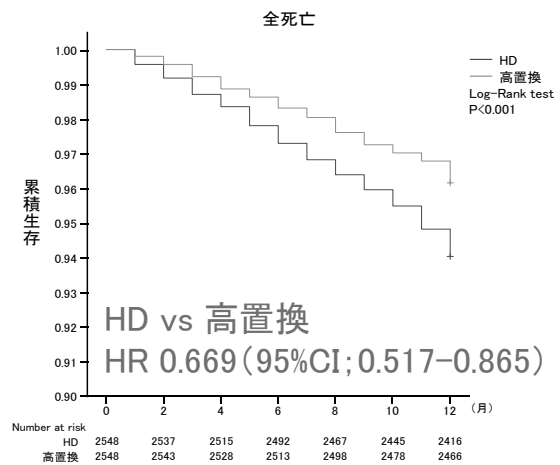
年齢、性別、合併症、糖尿病の有無等の背景を合わせた患者さん同士で通常のHDと前希釈型オンラインHDFの患者の比較がなされました。

9万人程いる患者さんを比較検討した結果、40ℓ以上（これを置換液量といいます）を透析の時に補液してその分を抜くオンラインHDFをした患者さんが通常のHDをした患者さんよりも34%位死亡のリスクが低くなる結果が出ています。同じオンラインHDFでも置換液量が40ℓ以上の高置換液量の患者さんの方が40ℓ未満の低置換液量の患者さんよりも生命予後がよかったですという結果でした。

おそらくオンラインHDFをやっている施設では40ℓ以上の高置換液量を使っている施設が多いと思います。心血管死亡である心臓病、脳卒中を含めたものを比較したのでは、36%ほどオンラインHDFの方が通常のHDより、予後が良かったという結果です。ただヨーロッパ、アメリカでも色んな試験をしており、差が無かったという報告もありますので、まだ議論の余地

## HDと低置換群、高置換群の生命予後比較

前希釈On-line HDFを2分位（1セッションあたり40L以上）して、HDと低置換群、高置換群の3群をそれぞれ1:1マッチング。



## 腎性貧血の治療開始基準と目標ヘモグロビン (Hb)

ガイドライン	Hb値 (g/dL)	9	10	11	12	13
日本透析医学会 2015	保存期CKD (成人)			治療開始 複数の検査で11未満	治療目標 11以上、13未満	
	重篤なCVD 既往例・合併例				治療目標 上限12	12を超えたら 減量・休薬を 考慮
	血液透析		治療開始 複数の検査 で10未満	治療目標 10以上、12未満 週初めの採血で		

日本透析医学会：2015年版 慢性腎臓病患者における腎性貧血治療のガイドライン、2016；114

があります。間歇補充型（ずーと補液をするのではなくて間歇的に補液をする）で60分に一回200ccの補液をするタイプのI-HDFをしますと血圧低下の際の処置回数が約2割減り、この方法も透析中の血圧低下には有効だと分かっております。

おりません。

### 貧血治療薬

次に貧血ですが、透析患者さんは、ほとんどの人がどうしても腎性貧血で薬を使っています。新しいHIFIPH阻害薬（飲み薬）がでてい

HDFが予後に本当に有効かどうか、死亡とか心血管イベントとか入院とかを比較する試験を、EUおよびイギリスで今やっているとあります。また、日本血液透析る過学会を中心にして、HDFでα1ミクログロブリンを取り除くことの臨床効果を証明する為に、透析患者におけるα1ミクログロブリン除去率が生存・合併症予後に与える影響を検討する試験が行われておりまだ結果が出て

ますので紹介したいと思えます。

貧血の治療に関しては透析医学会が2015年にガイドラインを出してしまへモグロビン値で10以上12未満になりますように赤血球の造血を刺激する物質であるエリスロポエチンやエリスロポエチンを改良した製剤で調整をするようにしています。従来の注射の赤血球造血刺激因子製剤（ESA）については必ずしも目標にヘモグロビン値が達成出来ないと、ヘモグロビン値が変動するとか、保存期の患者さんやCAPDの患者さんは来院して注射を受ける必要があります。血液透析の患者さんは通常透析時にするので別に来院の必要がなく来院回数に変化はないです。

ESAによる貧血治療の問題点として、いくつかあります。ESAに反応しにくい患者さんというESA低反応性であ

るとか沢山ESA投与しないと効かない患者さんがいたり、鉄が十分に利用できない（機能的鉄欠乏）患者さんでは、いくらESAをやっても貧血が良くならない患者さんがいます。まれですが抗エリスロポエチン抗体陽性赤芽球癆と言って、抗体ができてしまっかえって貧血になってしまっこともみられます。血液透析患者さんは回路から直接投与するので痛みはありませんが、保存期やCAPDの患者さんは皮下注射するので痛み

### 赤血球増血因子製剤(ESA) 療法の問題

ESAの作用時間に関係した問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標 Hb 達成率</li> <li>・Hb 変動</li> <li>・適正貧血管理のための患者来院回数の増加</li> </ul>
ESA の用量に対する問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESA 低反応性・高用量 ESA</li> <li>・機能的鉄欠乏</li> </ul>
注射製剤としての問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗 EPO 抗体陽性赤芽球癆</li> <li>・注射に伴う痛み</li> <li>・冷所保管</li> <li>・医療廃棄物</li> </ul>

本田浩一：内科 2023

を伴います。また、医療廃棄物や冷蔵保存を要するなど色々な課題があります。

それに対して新しい貧血治療薬であるHIF-PH阻害薬（低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤）は、高地に行くときと赤血球がたくさんできて、低酸素になるとHIFがエリスロポエチンの産生を刺激して貧血が良くなります。低酸素じゃない状態の時は体の方からHIFが分解されています。HIF-PH阻害剤はHIFの分解酵素を阻害する為に、あたかも低酸素分圧にいるような状態にさせてエリスロポエチンの産生が活性化されて貧血が治るといえるのです。

HIF-PH阻害薬の問題が無いかというと、癌の増殖、肺高血圧には良くない、網膜症の悪化、血栓塞栓症が懸念されるなど色々課題がありますので注意深く使う必要があります。

## 腎臓リハビリテーション

腎臓リハビリテーションですが、透析患者さんのどの年齢層でも8割位は運動の習慣がありません。体重減少、筋力低下、疲労感、歩行速度が遅い、運動習慣が無いというのを基準にして3つ以上が該当しているとフレイルで、フレイルは身体活動の低下を示します。1つか2つが該当するとプレフレイルで、フレイルの2割がフレイルであり、5割以上の患者さんがプレフレイルと診断されています（岡山大学報告）。透析患者さんの13・8%、67・7%がフレイルという報告もあり、一般の集団ですとか保存期のCKD患者さんよりも多いと考えられています。

腎臓リハビリテーションによってフレイルの予防、QOL改善が期待されます。透析

患者における腎臓リハビリテーションは、運動耐容能（どれだけ運動が出来るか）、歩行機能、身体的QOLの改善の報告がされています。

どんな運動療法が推奨されるかと言いますと、有酸素運動でしたら、エルゴメーター（固定式自転車）で週2〜3回、10分〜20分。散歩で1日30分、息切れをしない程度、自宅で4000歩以上歩く事などが推奨されています。また、レジスタンス運動（筋肉に抵抗をかける動作を繰り返

し行う運動）としては、おもりに使用したり、セラバンド（ゴム製のトレーニング道具）を10分〜20分、スクワット或いは椅子から立ったり座ったりをする事、バランストレーニングとしては、バランスマットを使ったり、片脚立位、タンDEM立位を5分間、週3回する事などが推奨されています。QOLの改善だけでなく透析効率が良くなるのて出来る方は是非して頂きたいと思えます。

## 改訂日本版フレイル基準（J-CHS criteria）

項目	質問、測定
体重減少	過去6カ月間に意図せず2kg以上体重が減少したことがありますか？
筋力低下	握力：男性<28kg, 女性<18kg
疲労感	この2週間で、理由もなく疲れを感じたことはありますか？
歩行速度	歩行速度<1.0 m/s
身体活動	あなたは、健康を目的とした適度な運動やスポーツをしていますか？健康を目的とした運動量が少ないですか？

フレイル (frailty) : 3~5点, プレフレイル (prefrailty) : 1~2点, 健常 (robust) : 0点

## 透析患者に対する運動療法・指導の具体例

種目	運動時間	運動頻度	運動強度	
有酸素運動	○エルゴメータ ○トレッドミル	20~40分	週3~5回	○RPE 11~13 ○種気性代謝閾値の心拍数* ○最高心拍数の50~70%
	○散歩(自宅)	30分/日	週4~7日(非透析日中心)	○息切れが生じない速さ
レジスタンストレーニング	○身体活動量(自宅)	4,000歩	週4~7日(非透析日中心)	○RPE 11~13
	○重錘、セラバンド	10~20分	週3~5回	○RPE 13~17
バランストレーニング	○自重トレーニング(スクワット、カーフレイズ、椅子からの立ち座り)			○1RM (or 5RM) の60~70%
	○神経電気刺激	20~40分	週3回	○耐えうる最大の出力
バランストレーニング	○バランスマット上 ○片脚立位、タンDEM立位、セミタンDEM立位、閉脚立位	5分	週3~5回	○上肢支持なしで、最低10秒以上は保持可能な姿勢

斎藤知栄：腎と透析 2023

## SDMとPRO

SDM（共同意思決定）は、患者さんが治療方針等を決める場合に医療者から話を聞くだけでなく、自分も意思決定に参加することを指します。

従来はパターナリズムと言って医師が患者さんを導く方法が主におこなわれていました。その後、医師が色々情報を提供してそれを患者さんが検討して最終的に患者さんが決定するインフォームドモデルが

### Q13 シェアードデシジョンメイキングとは何ですか？

A 医療者と患者さんが協働で患者さんにとって最善の治療選択の決定を下すコミュニ

	Informed Model インフォームド・モデル	Shared Decision Making 共同意思決定	パターナリズム 父権主義
情報交換	医師→患者 医学情報	医師⇄患者 医学情報 個人・社会情報 (価値観・生活)	医師→患者 医学情報
検討	患者(家族他)	医師と患者(家族他)	医師のみ
最終決定	患者	医師と患者	医師

Charles C. Social Science & Medicine 49:651, 1999

行われました。

SDMとは、医師は医療情報を提供する、患者さんは自分の思いや希望を言って頂き、それを医師と患者さんとスタッフと共同で検討して、決定も医師、スタッフと患者さんとで共同ですることです。

例えば腎臓が悪くなつて、透析をしなくてはならない状態になった時に、血液透析が望みですか、腹膜透析にしましょうか、移植にしましょうかと医療者側が提案し、冊子等を使って患者さんと一緒に意思決定をやっていきます。

2022年にCKDから透析が必要になった際のガイドが日本腎臓学会からですが、そのなかでSDMが取り上げられています。最近注目されているのがCKM（保存的腎臓療法）です。末期腎不全に達した患者さんに、腎代替療法である透析・移植をしない、あるいは透析治療の継続を中止する場合、尿毒症の

症状を緩和したり苦痛を緩和したりして保存的な治療をやって、腎臓の内科的管理から緩和療法までを包括してCKMといっています。

海外では盛んに行われていますが、日本では透析や移植を勧めており、どうしても難しい・嫌だという患者さんにはCKMを提示することもあります。腎不全の患者さんに対するケアで進行を遅らせた、合併症を最小限に留める介入をする治療を含みますが、特に症状の軽減をサポートすることを重視し、透析以外の事をしております。

PRO（患者報告型アウトカム）とは、患者自身によって直接評価された、主観的に評価されたあらゆる健康状態のことを言います。PROは、「患者は病気の経験やその経験から生まれる価値観のエキスパートである」というPatient centered careの考え方が基本にあります。PROに

は、症状、ADL、精神状態、社会的役割などが含まれます。PROには、治療効果の検証や患者の負担に医療者が気づく、などの活用があります。

## 危機管理

### ①感染症対策

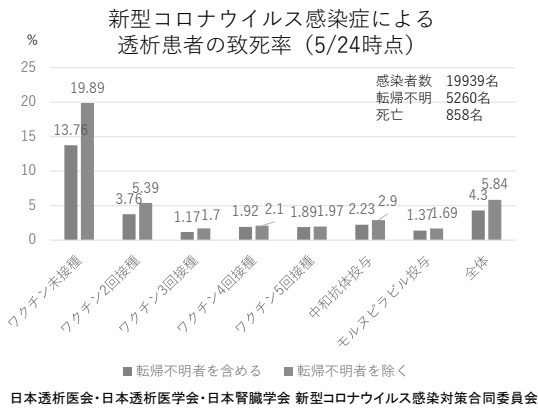
透析患者さんに感染症対策は必須です。感染しやすい患者さん、環境、機会があります。施設患者さんにとっても非常に重要な事です。

2000年に初版の透析施設の感染対策マニュアルが出来ています。マニュアルが出来たきっかけは透析施設でウイルス肝炎が蔓延し、多数の感染者がでたことです。その後、改訂が行われ、直近では2020年の4月に五訂版が出されましたが、新型コロナウイルスの事は載っていませんでした。新型コロナウイルスとか新たなワクチンとかほかの感染症の事を踏まえて、



六訂版が2023年12月末に発行予定で、全国の透析施設に配布されます。

新型コロナウイルスですが、2023年5月24日までで、全国の透析患者さんの感染者の累計が19,939人、東京都では4,136人でした。この後第9波があったのでさらに増えていると思いますが、現在は報告システムがなくなりましただけで感染者さんの実際の数は分からないです。ワクチン未接種に比べると3回以上接種しますとかなり致



死亡率が下がります。とは言え一般の方より高いです。

下落合クリニックの菊池先生（日本透析協会感染予防部会委員長、東京都透析医会幹事）が独自に調べたのですが、2023年5月24日以降257名の感染透析患者さんの全体の致死率が2・3%、70歳未満が0・8%、70歳以上になりますと3・8%となります。5類になりましたが、インフルエンザと比べると致死率は高いですので引き続き感染予防には気をつけ、透析施設では対応しています。入院が必要な場合は施設が入院先を探すと、東京都の方ではホームページで探しやすいようシステム作って頂いたのでは活用しています。C型肝炎は治療薬ができたので、ウイルスを持っています方は減っています。また、HIVの患者さんも増えていますが治療でウイルスが抑えられます。患者さんのプライ

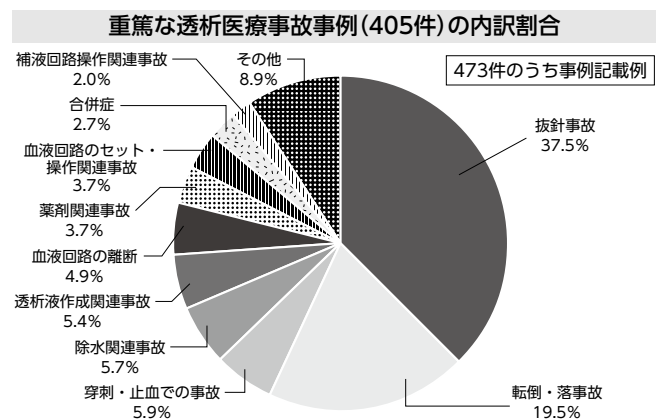
バシーのため、皆さんに知らされることは無いですが、標準予防策をすれば院内感染はないので安心してください。

### ② 医療安全

透析医会が中心となって全国で調査された透析に関する重篤な医療事故の報告では、透析中に針が抜けるという抜針事故が37・5%で一番多かったです。2番目が転倒転落事故で19・5%となっています。その他、穿刺や止血での事故、除水に関連した事故、透析液の作成ミスによる事故、血液回路が外れる事故、薬剤を間違える事故、透析の操作ミス、などが報告されました。抜針事故や転倒転落事故の要因として、患者さんの高齢化や認知症の患者さんの増加があげられます。透析医会では透析医療安全のための提言の策定が開始されました。

### ③ 災害対策

災害対策ですが、東京都は全国に比べるとビル診が多い、自家発電の所有の頻度が低い、密集している、など災害に關してはリスクが高いです。2018年から東京都透析医会が区部と三多摩のネットワークを繋ぎ、行政や臨床工学会技士会とも連携をする役割になっていきます。災害時ににおける透析医療活動マニュアルが2021年の5月に改訂されています。



# とうじんききょう 活動の まど

## 2023全腎協

### 全国代表者シンポジウム

11月11～12日（日）

アワーズイン阪急

11月11日（土）PM2時～5時、12日（日）AM9時～12時の2日間、大井町駅前のアワーズイン阪急ホテルにて行われました。各都道府県腎協から会長、もしくは事務局長クラスの県腎協の実状を熟知している人が一人代表で参加しました。東腎協からは戸倉会長、板橋事務局長は全腎協理事として参加、三好事務局次長が東腎協代表として参加しました。

1日目は全腎協から中長期運営検討委員会の報告、組織対策委員会から会員拡大キャンペーン、特区チャレンジの話があり、先進的な活動の代表として、鳥取県・宮城県・兵庫県の県腎協が活動・取組みを報告しました。また社会保障委員会の報告がありました。

2日目は患者会員数が同じ位の県腎協が6グループに分かれました。東腎協は1500人前後の会員数で構成されているBグループに入り、他には埼玉県、千葉県、新潟県、熊本県が一緒でした。長野県も一緒の予定でしたが、前日の夜から体調不良になり、朝帰宅されました。

- ① 会員増強のための課題
- ② 人材的課題（役員体制、事務局）
- ③ 財政的課題（会費収入・寄付金、事業見直し・経費削減）

- ④ 都道府県腎協で取組む課題
- ⑤ その他

以上のテーマについてディスカッションをして問題点と解決策を話し合いました。

どこの県腎協も抱えている問題点は同じで、

・ 患者会が解散した後連絡がくるので手の打ちようがない。

・ 配布物を会員に配れない。

・ 若い人の入会が減少。

・ 病院スタッフとのコミュニケーションがとれない。

・ 病院の協力が得られない。

・ 無関心の人が多い。

・ 会長の後任、育成

・ 病院患者会の役員のなり手が

・ がいなく患者会が成り立たない。

等の問題点ができました。

解決策として

・ 病院長の理解でスタッフの協力を。

・ 病院患者会でも後継者を育てる事が大切。

・ 若手は仕事をしている方が

多いが育成をしていかなければならない。

・ 患者会の有るところに重点を置いて病院回りをしていく事が大切。

・ 会員数を増やすのはなかなか難しいので減らさない努力をする。人件費の縮小。

・ 他団体への協力依頼。  
・ 寄付金の募集。  
等、多数の意見が出ました。久しぶりの対面方式の会議で、深い話ができて有意義な会合でした。



グループに分かれて討論

## 難病・慢性疾患

全国フォーラム2023  
3―すべての患者・障害者・高齢者が安心して暮らせる社会を!!―

11月18日(土)

共済ビルカンファレンス

ホール+オンライン

難病・慢性疾患全国フォーラム実行委員会の主催で開催された。

第一部 患者・家族の声

日本ALS協会、有機酸・

脂肪酸代謝異常症の患者家族会CDKL5遺伝子欠損症

(CDD) 患者家族会、福島

県難病団体連絡協議会

第二部 5年見直しの総括

・(NPO) ASridより

アンケート調査結果報告

・見直しについての総括(認定NPO) 難病のこども支

援全国ネットワーク(社)

日本難病・疾病団体協議会

第三部 シンポジウム&ディ

スカッション

(難病・慢性疾患患者の就労課題について)

・高齢・障害求職者雇用支援機構(Jeed)より調査結果の概要報告

アピール採択をして閉会しました。

※現地会場にて(NPO) ASridによるポスター展示セッションを実施。

【事務局】 一般社団法人日本難病・疾病団体協議



## 東難連第218理事会

12月10日(日)(WEB)

令和5年12月10日(日)午後1時30分〜3時00分 東京都難病ピア相談室(ZOOMミーティング)にて第218

回理事会が開催された。東腎協からは古暮理事が出席した。

主な議題は、パートナーズ助成金申請・内閣府主催説明会視聴等々一ヶ月の報告事項、

都知事ヒアリング・ピア相談室など協議事項、そして次回理事会など話しあわれた。

## 小池都知事ヒアリング

12月14日(木)

協議事項に有った、都知事

ヒアリングが12月14日(木)

14・20〜14・30都庁第一本庁

舎42階北側特別会議室にて対面で行われ、古暮理事が出席

した。

10分間という短い時間ではあったが小池百合子都知事が出席し、要望書の手渡し。ここでは都が手配していた方が写真撮影をした。その後、意見交換等をした。ネット中継業者も入ったの事であった。



小池都知事とのヒアリング

## 虎の門会

### 50周年記念食卓会

11月8日(日)

日比谷松本楼

虎の門会会長

須賀 春美

虎の門会は昭和45年(1970年)11月8日に設立総会が行われ今年で53年となります。

コロナの影響で3年遅れとなりましたが、11月12日(日)に日比谷松本楼にて虎の門会50周年記念食卓会を行う事が出来ました。半世紀以上に渡り虎の門会を続けてこられたのは、これまで参加された多くの会員さん、歴代の役員さんのおかげと深く感謝しています。

また、前会長で役員歴が一番長い道岡さんからはこれまでの歩みを話して頂きました。みなさんお会いするのはとても久しぶりで話も弾み、旅行の話や自己管理の疑問、昔

話と楽しい時間を過ごす事が出来ました。



50周年記念食卓会で

## 第5回 道岡勝人バスリサイタル に100名様ご招待

透析暦36年の道岡 勝人さんが開く第5回バスリサイタルに、東腎協会員さんをご招待致します。犬のお巡りさん、「さっちゃん」の作曲家大中原先生の曲目を中心に歌いま

す。道岡さんは虎の門会会長を20年続けられ今も現役で働いています。  
ご希望の方は、東腎協事務局迄ご連絡ください。道岡さんよりチケットを郵送します。みなさまのご応募お待ちしております。

### 第5回 道岡勝人 バスリサイタル

日時 2024年

6月1日(土)

開場 13時30分、

開演 14時

会場 王子ホール

最寄駅 銀座線銀座駅 A12

出口徒歩1分



## 江戸川腎友さつき会 日帰りバス旅行

11月5日(日)

清湘会東砂病院

野口忠男

### 4年ぶりのバス旅行

新型コロナウイルス感染により活動が三年以上自粛状態が続いていましたが令和5年5月から五類となり、江戸川腎友さつき会はこれまでと同様の感染対策としてマスク・手洗い等のことは実行しながら、令和元年の鬼怒川温泉等のバス旅行以来の日帰りバス旅行となりました。

令和5年11月5日(日)、今回の企画は「西伊豆・沼津でお食事と三島スカイウォーク日帰り」です。

朝8時に都営新宿線船堀駅近くの三菱UFJ銀行前に集合し、点呼をとった上でバスに乗車。予定通り8日時半出発。出発後、戸倉振一会長の

挨拶と宗像聡之氏からスケジュール説明があり、バスガイドさんの挨拶とお話、女性添乗員さんの挨拶とお話へと続きました。

## ビール工房見学

バスは首都高速から東名高速へ入り、三連休の最後の日としては車の流れはスムーズに進み、途中一か所パーキングに寄り、予定通り午前11時に「伊豆丹那の酪農王国オラツチェ酪農」に到着。

ここでは、ビール工房等見学となりましたが、見学



江戸川さつき会の皆さん

はできず、買い物をしました。買ひ物は地元野菜を買う人が多かった。売っている品物としてはビールとか乳製品、ジャム等がありました。見てきた人によると可愛いポニーがいたそうです。また、ソフトクリームを食べたという人もいました。

買い物を買って12時に出発。そして12時40分に昼食の場となった「割烹沼津ぼんどーる」に到着。この頃になると空は晴れてきました。

## 昼食はウナギ班と海鮮班

ここでは、ウナギを食する班と海鮮班に分かれての食事となりました。乾杯の後、歓談をしながらの食事でした。料理は品数も多く、美味しく頂きました。ほとんど普段たべないウナギをじっくり味わいました。

13時40分「割烹沼津ぼんどーる」を出発し、三島市街地を通り「三島大社」に着いた



三島スカイウォーク

のが14時でした。三島大社では30分間の参拝となりました。参拝客は多かったです。大社らしく大きな神社で、もう一度ゆっくり色々な所を見たいなりました。

三島大社からほどなく14時45分に「三島スカイウォーク」に到着。ここは有料ですが、全長四百メートル、高さ七十メートル、歩道幅一・六メートル日本一の大吊橋ということです。橋を渡る前に集合写真撮りました。若い人や外国人の観光客も多く、数珠繋ぎとなって橋を渡りながら、

途中雲間にうっすらと見える富士山は雪がなく黒々としていました。揺れながらの往復となりました。また、この施設にはアドベンチャーコースというのがあって、ロングジップスライドを楽しむ若い人も橋からみえました。

## 無事帰路に

15時30分に出発、帰途に。帰りは高速の混雑が予想されるということで箱根新道を通りました。東名高速に入ると案の定渋滞が始まりました。バスの中ではテレビで日本シリーズの阪神対オリックスの最終戦が映し出されています。船堀駅には19時30分頃到着。怪我する人もなく、集合時間に遅れる人もなく、無事バス旅行を終えました。思い出の多い旅となりました。この旅行を企画、進行して頂いたスタッフの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 23区ブロックの コーナー

### 23区ブロック長

古暮 宏

新年明けましておめでとう  
ございます。昨年中はブロッ  
ク活動にご協力を頂き有り難  
うございました。本年もどう  
ぞ宜しくお願い致します。

### 昨年を振り返って

昨年は新型コロナウイルス  
感染もほぼ収束し対面による  
ブロック活動を漸く始める事  
が出来ました。

第一回は7月9日(日)タ  
ワーホール船堀で正会員、個  
人会員合同で「新型コロナウイルス  
対策と災害透析医療の  
動向」と題して東京都臨床工  
学技師会会長岡本裕美先生の  
ご講演を頂きその後参加者の  
皆様の現況報告を頂き会員の

交流を計りました。23名が参  
加しました。

第2回は9月17日(日)同  
じくタワーホール船堀で「透  
析患者がより良い生活を送る  
ための腎臓リハビリテーショ  
ンと人生の最終段階に向けた  
人生会議(ACP)について」  
日本赤十字社医療センター腎  
臓内科部長石橋由孝先生、寸  
村玲奈先生による講演をいた  
だきました。正会員、個人会  
員合わせて32名が参加しまし  
た。

### 後継者不足・会員減少

一方23区ブロックでは昨年  
は会員の減少が続きました。後  
継者がいないため、患者  
会の解散が続くなど大きな課  
題を抱えての年越しとなりました。

今年にはブロック活動として  
会員皆様の生活の質の向上に  
お役にたつ講演会、勉強会の  
開催や交流会を行いたいと思  
います。あわせて患者会運営

に苦慮されている正会員皆様  
に寄り添い少しでもお役に立  
てるよう理事一同取り組みた  
いと思います。

会員皆様の今年一年のご多  
幸をお祈りしております。

### 23区ブロック学習会

#### 及び交流会のご案内

日時…2月11日(日)

13:30～15:30

場所…東京都障害者福祉会館

#### 第1部 学習会

テーマ…ACP第2段として

「ACPの具体的な進め方」

講師1…道傳潔氏

東京都保健医療局

地域医療担当課長

講師2…新田國夫氏

東京都在宅療養推進

会議会長

#### 第2部 交流会

講演会の後、参加された会  
員皆様との交流会を行いたい  
と思います。多数の会員皆様のご  
参加をお待ちしています

青い鳥郵便はがき」の無  
償配布にご協力ください

「青い鳥郵便はがき」

は、日本郵便(株)が身体障  
害者及び知的障害者の福  
祉に対する国民の理解と  
認識をさらに深めること  
を目的とし、無償で配布  
しています。東腎協では、  
会員の皆様から「青い鳥  
郵便はがき」のご寄付を  
いただき、東腎協財政の  
一助になるようご協力を  
願っております。

#### ◎受付期間

2024年4月1日

(月)から同年5月31日

(金)まで

#### ◎配布日

同年4月22日(月)以降

#### ◎申し込み方法

最寄りの郵便局で障害  
者手帳を提示の上申し込  
んでください。

## 多摩ブロックの

## コーナー

多摩ブロック長

横溝久美子

新年あけましておめでとう  
ございます。

昨年中の皆様のご理解・ご  
協力感谢您致しますと共に、  
本年の皆様のご多幸をお祈り  
いたします。

### 昨年を振り返って

昨年は多摩ブロック活動の  
大きな壁となっていた新型コ  
ロナウイルス感染症が5類へ  
移行されました。ようやく5  
年ぶりに会員の皆様と対面で  
行う行事ができました。

4月には「透析患者さんに  
運動って必要なんでしょう  
か？」と題して腎臓リハビリ  
テーションの勉強会。7月には  
「正会員会議」を開催しま  
した。10月の「バーベキュー

交流会」は人数が集まらず、  
残念でしたが中止になりました。  
「勉強会」「正会員会議」  
では、「お久しぶりです」と  
いう挨拶も交わされ、直接お  
顔を拝見でき、患者会の実状  
を知ることができました。

コロナ禍で会員同士が話す  
こともできず、加えて高齢化  
が拍車をかけ、会員数の減少  
と役員の担い手が減ってきて  
いるという厳しい状況が、ど  
の患者会にも共通の悩みとな  
っているが明確になりました。

### 「会員拡大患者会支援活動」

10月以降、「会員拡大支援  
活動」として、状況を把握で  
きていない患者会や解散が迫  
られている患者会にお声をか  
けていきました。

残念ながら解散した患者会  
もありましたが、その中でも、  
正会員さんが孤軍奮闘ながら  
病院の協力を得て患者会を守  
り続けているところ、「お便  
り」をこまめに作成して、会

員さんとのパイプにしている  
ところ、会を再建し役員会を  
続けて情報交換や行事を計画  
しているところ。会員の激減  
でも個人会員移行を踏みとど  
まり会員募集に尽力している  
ところ等、各々が地道な活動  
を続けていることがわかりま  
した。頭が下がる思いです。  
そして力が湧いてきました。

### 2024年の目標

今年も学習会・正会員会議  
・交流会等を通じて、できる  
限り多くのお顔を拝見でき、  
お声を聞くことができる活動  
を心掛けていきたいと考えて  
います。

2月には「新春会員学習交  
流会」で私たちの命と生活を  
守っている「社会保障制度・  
医療費助成制度」の学習と会  
員交流会を。春には多摩地域  
の災害対策の講演会を三多摩  
腎疾患治療医学会災害対策委員  
長の尾田高志先生（八王子医  
療センター腎臓病センター

長）をお招きし予定していま  
す。

会員の皆様の命を守る学習  
会と、励みになる交流会と、  
更に地道な活動をされている  
患者会への支援ができるよう  
に、多摩ブロックの役員一同  
努めていきたいと考えていま  
す。よろしくお願いいたしま  
す。

### 『新春多摩ブロック会員 学習交流会』

○日時…2024年2月4日

(日) 午後1時～5時

○場所…国立駅前くにたち・

こくぶんじ市民プラザ(国立

駅高架下 徒歩2分)

○内容…学習会テーマ

「家でもできる温罨法・タオ

ルを使ったホットパック療法

の実体験」

講師…小久保智弘氏(東京在宅

サービス主任インストラクター)

○参加費…無料

(お茶、お菓子付き)

## 第12回 東京歩こう会

2023年11月5日(日)

に「フーテンの寅さんに会いに行こう」と題して、葛飾区柴又に行くことを企画しました。

柴又は、江戸川に抱かれ昔ながらの信仰と帝釈天参道の賑わいなどが息づき独特な風情を醸し出しています。参道には川魚料理屋、団子屋、土産物店などが立ち並び昔ながらの趣を今なお色濃く残しています。

日蓮宗のお寺「柴又帝釈天」は彫刻が施された諸堂、毘沙門天、回廊式庭園など多くの見所があります。11月なので寒いと思っていました。11月なのでかくちようど良い散歩日和でした。午前10時に葛飾区にある京成金町線柴又駅前にあるフーテンの寅さん像前に集合参加者は付添い人を含めて14

名でした。

ウォーキングコースの案内図と名札を配布して日程の説明をしていた時に葛飾区のシニア観光ボランティアガイド「かつしかかたり隊」の方が近づいて来て、山本亭まではガイドしますのでどうでしょうかとおっしゃったので、ガイドをお願いしました。

その後、柴又駅前のフーテンの寅さん像前で参加者の記念写真を撮りました。写真を撮った後フーテンの寅さん像の秘密をボランティアガイドの方から教えてもらいました。



柴又駅フーテンの寅さん前で

それは、フーテンの寅さん像の左足を三回触りながら願い事を唱えようと願いが叶うと言う事でした。寅さん像の左足をよく見ると皆さんが、よく触るのでピカピカに光っていました。

寅さん像を見た後帝釈天参道に向かいました。参道には駄菓子屋、団子屋、鰻屋、お土産屋などがたくさん並んでいました。帝釈天参道を見た後帝釈天に向かいました。帝釈天では、帝釈天の成り立ちなどをボランティアガイドの方からお聞きし色々勉強になりました。帝釈天でも参加者の記念写真を撮った後山本亭に向かいました。山本亭は、古くて大きな邸宅で、お庭がとても綺麗でした。

山本亭を見学した後昼食時間になったので参加者が各々帝釈天参道で、昼食をとりました。昼食後「矢切の渡し」の渡し船に乗る為に、乗船場のある江戸川の河川敷に向か

いました。渡し船を楽しんだ後、次の目的地葛飾柴又「寅さん記念館山田洋次ミュージアム」に向かいました。寅さん記念館は、映画「男はつらいよ」で実際使われていた衣装や小道具、映画の歴代のポスターを映像で楽しむ趣向を凝らした展示物がありました。山田洋次ミュージアムは、監督の作品についての紹介や山田洋次さんは、どういう人だったのかが分かる展示になっていました。

その後、柴又駅に向かう途中で、参加者の多くの人達が帝釈天参道で買い物があったと言ったので、帝釈天参道で解散することになりました。

今回の歩こう会は、距離が短かったので比較的楽で、楽しい1日でも良い歩こう会でした。次回も楽しい歩こう会になると思うのでたくさんの方に参加いただけたら良いなと思っています。

歩こう会世話人 松本茂利



「東京都・東腎協の  
透析患者災害対策」  
12月17日（日）

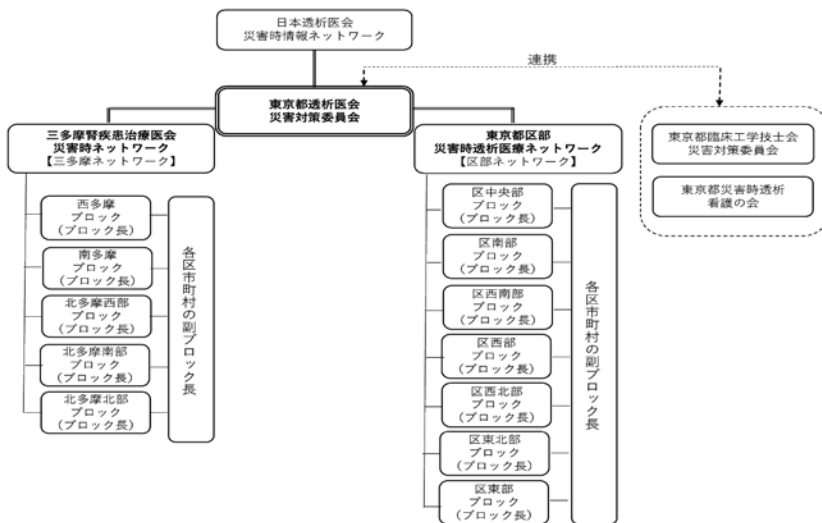
東京都障害者福祉会館

東腎協災害対策委員会は12月17日（日）東京都障害者福祉会館（港区・三田）で戸倉委員長を講師に、「東京都・東腎協の災害対策」の勉強会を開きました。



東腎協事務局で

東京都、東腎協の災害対策の歴史  
東腎協は1979年（昭和54年）に東京都に対し、要望書『災害時の人工透析医療の確保について』を提出以来、透析患者の特性を考慮した災害時の対策を訴えてきました。当時、東京都は疾患別の対応は困難としてきましたが、1995年1月の阪神淡路大震災を契機に透析患者の災害対策の重要性が認識され、翌1996年に都の地域防災計画に「透析者への対応」の項目が初めて入りしました。  
1997年に東腎協は『緊急時透析患者手帳』を発行。同年6月、東腎協25周年記念事業として、都衛生局課長による講演「災害時における透析医療の確保について」を実施。同年8月に東京都衛生局



が『災害時における透析医療活動マニュアル』を発行しました。  
また、1998年には、三多摩腎疾患治療医学会が「災害時透析医療ネットワーク」を構築。2005年4月に「東京都区部災害時透析医療ネットワーク」が設立されました。

緊急時透析情報共有マッピング

[https://diemas.jp/DIEMAS/map\\_facility](https://diemas.jp/DIEMAS/map_facility)

- ・ 災害担当者（医師、技士、看護師、事務）
- ・ 患者数（独歩、担送、護送）
- ・ 災害時透析条件カードの配布
- ・ 透析室：階数、ベッド数
- ・ 透析台数：メーカー
- ・ 送迎車両、規制除外車両の有無
- ・ 設備：自家発電、貯水槽、貯水槽容量
- ・ スタッフ・患者との連絡手段



2005年4月、東腎協第33回総会記念パネルディスカッション「東京に大地震・その時透析医療は？」が行われ、当時、東京都腎不全対策協議会の会長であった、杏林大学学長の長澤先生、日本透析医学会常務理事で心施会初代理事長・会長の杉崎先生、東京都の災害対策の担当係長、新潟中越地震体験者、東腎協災害対策委員長がパネリストとし

て参加しました。

2006年には、日本透析医会が日本財団助成事業として実施した「災害時医療支援船構想首都圏プロジェクト航海」に、墨田川や荒川流域の地域腎友会や東腎協の会員が参加しました。

### 東腎協と東京都、透析医療ネットワークとの連携

2018年1月、東京都透析医会は日本透析医会の40番目の都道府県単位の支部として発足されました。その主な目的は ①透析療法の向上発展 ②透析患者の災害対策です。とりわけ、東京都透析医会災害対策委員会では、緊急時透析情報共有マッピングシステム(DIEMAS)という画期的なシステムを運用・拡充しています。現在、埼玉・神奈川・千葉・福岡・沖縄の中部地域までの一都5県が運用を開始し、岐阜、北海道が準備中です。また、行政も

参加した「透析医療確保に関する広域関東圏連携会議」が組織され、埼玉、群馬、栃木、東京、新潟、神奈川県が患者を受け入れるシミュレーションなどを行っています。

東腎協は東京都透析医会災害対策委員会に戸倉会長が委員長として参加し、情報共有をおこなっています。また、2019年10月に開催された東腎協第9回大会では、シンポジウム「災害時における透析治療をどう確保するか」を東京都福祉保健局疾病対策課、東京都透析医会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患対策治療医会、東京都臨床工学技士会の先生方のご協力で開催しました。



#### 災害時に透析医療を確保し透析患者の命をつなぐための区市町村の課題

- ・都福祉保健局と連携する担当課は？
- ・行政と透析施設の日頃から連携、顔の見える関係づくりが必要。
- ・集中的に水や自家発電燃料を供給する施設の検討。
- ・透析可否の情報が得られる避難所、医療救護所はどこか？
- ・患者搬送に透析施設の送迎車を活用。(規制除外の申請)
- ・腹膜透析患者の避難所でのバッグ交換の場所の確保。
- ・広域災害の患者の搬送は？宿泊先の確保は？
- ・船舶を活用した患者搬送の検討。
- ・他県の患者の受け入れ(宿泊先の確保)
- ・江東5区大規模水害への対応(透析施設、区が機能不全の場合)
- ・患者の自助の啓発。

### 「災害時における透析医療活動マニュアル」(令和3年改訂)

2021年5月に改訂された東京都福祉保健局「災害時における透析医療活動マニュアル」では、全区市町村をブロックに分け透析施設災害担当者が明記されました。そして2022年3月には透析患者を対象とした「改訂マニュアル講演会」(Web)が東京都透析医会災害対策委員会主催、東京都、東腎協後援で開催されました。

災害時における透析医療活動をより強化するためには、患者会による区市町村への働きかけが重要であることが改めて確認されました。

#### まとめ

コロナ禍で活動が少し足踏み状態ですが、災害は忘れた頃にやってくると云われます。大地震だけでなく、火災、水害、(台風・ゲリラ豪雨)土石流、富士山の噴火による火山灰などの災害が想定されます。

透析患者である私たちは、平時時と同じように透析を行うことが出来なくなること踏まえて、自らも備える必要があります。

災害対策委員会として、最後に透析患者カードなども携帯できる『災害手帳』の改訂版作成を、来年度活動の大きな目標とすることを申し合わせました。

## 速報 令和6年能登半島地震の被害と対応

令和6年1月1日16時10分

頃の石川県能登地方の地震により、最大震度7を観測するなど能登半島を中心とした強い揺れと、地震に伴う津波により、家屋の倒壊や火災など甚大な被害を及ぼしました。富山県や新潟県でも液状化や建物被害が相次ぎました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災

災地が一日も早く復旧することを祈りいたします。

### 地震の規模

今回の地震は、マグニチュードM7.6で、能登半島では、過去最大級となる地震でした。石川県が作成している地域防災計画で、過去の地震から想定している能登半島北方沖の地震ではマグニチュードM7.0となっており、「想定」を超える地震でした。この度の地震が起こるのかの正確な把握には限界があります。が、事前対策の限界を知り、最新の知見に基づいて対策を更新し続けることが必要とされます。

### 厚生労働省における対応

厚生労働省防災業務計画では、発災後24時間以内に人工透析患者等緊急の対応を要する要配慮者の安否確認、

支援を行うとしており、その対応について逐次公表していきます。

それによると、発災同日夕方、各都道府県に対し、被害状況確認の連絡体制確保を要請し、また、日本透析医会に対し、情報共有について協力を依頼、日本透析医会災害時情報ネットワークメンバーリングリストにおいて、石川県、富山県、新潟県の被害状況等について確認しています。

### 透析施設の被災状況

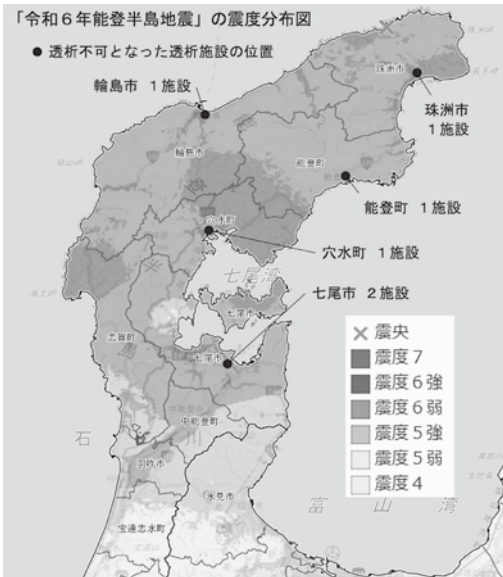
石川県の43透析医療機関のうち、透析が出来ない医療機関は最大7医療機関、透析が出来ない患者数は最大360人に及びました。透析を受けることが出来ない患者への対応については石川県内の医療機関のほか、県外（富山県、福井県等）の医療機関で受け入れられ、通院が困難な医療機関の患者については一般車、

自衛隊車両、航空機で搬送が行われました。富山県では、44透析医療機関のうち、1医療機関が透析出来なくなりました。

全腎協においても発災直後に災害対策本部を設置し情報収集を開始しました。発災時は透析を受けていた方はその日は中断し、その後、復旧していない透析施設の透析患者は県内、県外の透析施設で短時間透析を受けながらも透析は確保されていることが確認されました。

### 長期にわたる支援が必要

今回の地震の被害は甚大でありインフラの復旧にも時間を要し、透析施設においては施設半壊や部分破損などの被害を受けている施設もあり、長期にわたる支援が必要なおとが想定されますので、必要な支援行き届いているか引き続き情報収集をしていきます。（1月10日現在）





# 明けましておめでとうございます

二〇二四年一月

今年もがんばります

NPO法人東京腎臓病協議会

会長 戸倉 振一

副会長 古暮 宏

同 横溝久美子

同 酒井 豊

同 須賀 春美

事務局次長 三好かおり

事務局長 板橋 俊司

理事 大友 晴雄

同 岡田 和友

同 金井 信憲

同 小林 正和

同 清水 陽介

同 須藤 幸子

同 成田 哲也

同 野口 忠男

同 松本 茂利

同 丸山 春良

同 依田 滋

監事 村越 京子

相談役 金子 智

同 宿野部武志

社会福祉法人 樹会「透析者人居できます」

特別養護老人ホーム 大井苑

理事長 富家 隆樹

〒356-0005 埼玉県ふじみ野市大井武蔵野1277-1

TEL 049(262)8686 FAX 049(256)5300

社会福祉法人 樹会「透析者人居できます」

特別養護老人ホーム 四街道苑

理事長 富家 隆樹

〒284-0008 千葉県四街道市鹿ヶ丘593-3

TEL 043(304)8161 FAX 043(304)8163

社会医療法人社団 健生会

すながわ相互診療所

所長 小泉 博史

〒190-0002 東京都立川市幸町5丁目9番2号

TEL 042(538)1502 FAX 042(538)1502

社会医療法人社団 健生会

羽村相互診療所

所長 小林 重雄

〒205-0023 東京都羽村市神明台1-30-5

TEL 042(554)5420 FAX 042(555)3151

医療法人財団

きよせ旭が丘記念病院

理事長 高木 由利

〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-6-19-15

TEL 042(491)2121 FAX 042(491)6653

医療法人社団

菊川橋クリニックス

院長 古川 猛

〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1

TEL 03(5600)2222 FAX 03(5600)0805

医療法人社団 君真光

寺田病院

理事長 寺田 光男

〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目18番16号

TEL 03(333)1166 FAX 03(333)6766

医療法人財団 健康文化会

小豆沢病院

院長 一瀬 隆広

〒174-8502 東京都板橋区小豆沢一丁目六番八号

TEL 03(313)6684 FAX 03(313)9601

社会医療法人社団 順江会

東京綾瀬腎クリニックス

院長 長田 しをり

〒124-0001 東京都葛飾区小菅4-8-2

TEL 03(5680)6888 FAX 03(5680)6898

医療法人社団 時正会

理事長 横川 秀男

碑文谷腎透析クリニックス

院長 道端 哲郎

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷3-19-8

TEL 03(573)1282 FAX 03(573)1283

旗の台小池クリニックス

院長 古田 英美子

〒142-0064 東京都品川区旗の台5丁目8番23号

TEL 03(549)1681 FAX 03(549)1682

自由が丘いずみクリニックス

院長 新藤 優紀

〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2丁目10番20号

TEL 03(573)5771 FAX 03(573)5773



明けましておめでとーうございす

二〇二四年一月

<p>医療法人社団 秀佑会</p> <p><b>東海病院</b></p> <p>院長 江本 秀斗</p> <p>〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03(39999) 1131 FAX03(39999) 7027</p>	<p>医療法人社団 三友会</p> <p><b>あけぼの病院</b></p> <p>理事長 南郷 俊明</p> <p>〒194-0021 東京都町田市巾町1丁目23番3号 ☎042(728) 1111 FAX042(728) 8469</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p><b>腎クリニックス高野台</b></p> <p>院長 栗山 謙</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1丁目3番7号NFプラザII3階 ☎03(5910) 3121 FAX03(5910) 3123</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p><b>大泉学園クリニックス</b></p> <p>院長 草場 岳</p> <p>〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-40-24 サンダリオンビル3F ☎03(5947) 5681 FAX03(5947) 5681</p>
<p>医療法人社団 松和会</p> <p><b>練馬高野台クリニックス</b></p> <p>院長 鈴木 重伸</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-8-15 ☎03(5372) 6151 FAX03(5372) 6151</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p><b>新小岩クリニックス</b></p> <p>西尾 信一郎</p> <p>〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03(3694) 5621 FAX03(3694) 5628</p>	<p>医療法人社団 腎と水</p> <p><b>新中野透析クリニックス</b></p> <p>理事長 津田 信次 スタッフ一同</p> <p>〒164-0012 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AMビル1階 ☎03(3370) 8111 FAX03(3370) 8129</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p><b>立川北口駅前クリニックス</b></p> <p>理事長 檜垣 昌夫 院長 石原 理裕</p> <p>〒190-0012 東京都立川市曙町 1丁目31番2号遠藤創造ビル3階 ☎042(523) 2299 FAX042(523) 2400</p>
<p>医療法人社団 心施会</p> <p>理事長 杉崎 健太郎</p> <p>〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042(366) 8909 FAX042(366) 2601</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>人工透析・深夜透析・在宅透析</p> <p><b>腎内科クリニックス世田谷</b></p> <p>理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03(5969) 4976 FAX03(5969) 4976</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p><b>幸町腎クリニックス</b></p> <p>院長 渡辺賀寿雄</p> <p>〒190-0004 東京都立川市柏町4丁目1番1号 ☎042(536) 3099 FAX042(536) 3269</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p><b>亀戸畠山クリニックス</b></p> <p>院長 畠山 卓弥</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2-4-2-5 亀戸クリニックスファーム4階 ☎・FAX03(6885) 3341</p>
<p>医療法人社団 心施会</p> <p>理事長 杉崎 健太郎</p> <p>〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042(366) 8909 FAX042(366) 2601</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>人工透析・深夜透析・在宅透析</p> <p><b>腎内科クリニックス世田谷</b></p> <p>理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03(5969) 4976 FAX03(5969) 4976</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>人工透析・深夜透析・在宅透析</p> <p><b>腎内科クリニックス世田谷</b></p> <p>理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03(5969) 4976 FAX03(5969) 4976</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>人工透析・深夜透析・在宅透析</p> <p><b>腎内科クリニックス世田谷</b></p> <p>理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03(5969) 4976 FAX03(5969) 4976</p>



# 明けましておめでとうございませう

二〇二四年一月

<p>医療法人社団 春口クリニックス 飯田橋春口クリニックス 院長 春口 洋昭</p> <p>〒102-0007 東京都千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03(52215)1515 FAX03(52215)1519</p>	<p>医療法人社団 やよい会 あやせ駅前腎クリニック 院長 榎本 美穂</p> <p>〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3丁目21番18号 ☎03(5697)8281 FAX03(5697)8282</p>	<p>医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 病院長 山本 保博</p> <p>〒131-0032 東京都墨田区東向島2丁目27-1 ☎03(5655)1120 FAX03(5655)1121</p>	<p>医療法人社団 やよい会 北千住東口腎クリニック 院長 大森 容子</p> <p>〒120-0026 東京都足立区千住旭町 ☎03(5284)5101</p>	<p>医療法人社団 長尽会 長久保病院 理事長 桑原 勝孝</p> <p>〒186-0011 東京都国立市谷保6907番地の1 ☎042(571)2211 FAX042(571)2288</p>	<p>医療法人社団 松岳会 東武練馬クリニック 院長 目良 純一郎</p> <p>〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-11-2 ☎03(5922)3530 FAX03(5399)6880</p>	<p>医療法人社団 長尽会 練馬桜台クリニック 理事長 永野 正史</p> <p>〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 ☎03(5999)0723 FAX03(5999)0823</p>	<p>株式会社 教宣文化社 代表取締役 成瀬 大輔</p> <p>〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04(2944)4323 FAX04(2944)0118</p>	<p>ad square グリーンループ合同会社 代表取締役 長谷川貴一</p> <p>〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番地13号 ☎03(6227)6580 FAX03(3505)8508</p>	<p>株式会社 エルピス株式会社 常務取締役 堀江 好美</p> <p>〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目6-29 ☎06(6100)5010 FAX06(6100)5020</p>	<p>ベータ食品株式会社 代表取締役 田島 潔</p> <p>〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-16-10 高石ビル5階 ☎0800111321 FAX01209891831</p>	<p>扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店 執行役員支店長 田島 潔</p> <p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03(5203)7101 FAX03(5203)7088</p>	<p>あかつき印刷株式会社 代表取締役社長 大久保 豊</p> <p>〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4の25の2 APビル ☎03(3497)0531 FAX03(3497)0043</p>	<p>読者の皆様 新年あけましておめでとうございませう 本年もよろしくお願ひ申し上げます 吉祥寺あさひ腎友会 会員一同 吉祥寺あさひ病院・吉祥寺クリニック内</p>
--	---	---	---	---	---	--	---	---	--	---	---	---	--



明けましておめでとーうございします

二〇二四年一月

<p>医療法人社団 心施会</p> <p>八王子東町クリニック桑の実会一同</p> <p>JR八王子駅前通り、ダビンチビル7F 〒042(646) 6996</p>	<p>医療法人社団 心施会</p> <p>平山腎友会一同</p> <p>京王線平山城址公園駅前 東京都日野市平山5-38-1 〒042(599) 2311</p>	<p>謹賀新年</p> <p>清湘会記念病院腎友会</p> <p>会長 野口 忠男 他会員一同</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 〒03(3636) 2301</p>	<p>謹賀新年</p> <p>清湘会東砂病院腎友会</p> <p>会長代行 野口 忠男 他会員一同</p> <p>〒135-0074 東京都江東区東砂7丁目17番9号 〒03(6666) 6591</p>
<p>謹賀新年</p> <p>新江東橋クリニック腎友会</p> <p>会長 金井 信憲 副会長 石川 仁司 会計 上松 一郎 正会員 金井 信憲 監査 隠岐 登 他会員一同</p> <p>〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-7-13 〒03(5637) 6920</p>	<p>きよせ旭が丘記念病院腎友会</p> <p>会長 山下 賢 副会長 宮本 弘之 監査 細田貴代美</p> <p>〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-26-1 〒042(491) 2121 FAX 042(491) 6654</p>	<p>柳原腎クリニック 健腎会</p> <p>会長 永井 昌平</p> <p>〒120-0023 東京都足立区千住曙町4番16号 〒03(3888) 2707 FAX 03(3888) 7729</p>	<p>腎内科クリニック世田谷患者友の会</p> <p>会長 古暮 宏</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-21-14 〒03(5969) 4976 FAX 03(5969) 4970</p>
<p>江戸川区腎友さつき会</p> <p>会長 戸倉 振一</p> <p>〒134-0085 東京都江戸川区南葛西1丁目5番1号 〒03(5658) 0757</p>	<p>森山友の会</p> <p>会長 岸里 悟 他会員一同</p> <p>〒134-0088 東京都江戸川区西葛西7丁目12番7号 社会医療法人社団森山医会 森山脳神経センター1病院透析センター内 〒03(3675) 1211</p>	<p>謹賀新年</p> <p>菊川橋クリニック腎友会</p> <p>会員一同</p> <p>〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 〒03(5600) 2222</p>	<p>高松医院腎友会</p> <p>会長 三好 かおり</p> <p>〒179-0075 練馬区高松六-四-二十三 医療法人 社団蒼生会 高松医院内</p>
<p>医療法人社団 博樹会</p> <p>西クリニックひまわりの会</p> <p>会員一同</p> <p>〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-10 西クリニック内</p>	<p>日野腎友会 (日野・豊田・高幡・百草)</p> <p>会長 板橋 俊司 副会長 栗木美智子</p> <p>(日野) 世話人 長田由紀子 (日野) 世話人 樋渡 恭子 (百草) 世話人 富張 理子 (高幡) 世話人 田中 克幸</p>	<p>日野市透析患者災害ネットワーク</p> <p>準備会</p> <p>世話人 (日野) 板橋 俊司 (平山) 岡田 和友 (豊田) 矢野 茂 (高幡) 田中 克幸 (百草) 富張 理子</p> <p>住所 日野市本町3丁目11番地1 〒191-0011 〒042(584) 6621</p>	

(2023年 No244冬号)

# 長期透析(透析歴30年以上)会員のお名前 おめでとうございます。これからもがんばって!

対象:透析導入日1993年(平成5年)1月1日~12月31日

会員名	導入年月日	患者会名
✿ 青山 公子	1993年4月22日	清湘会記念病院腎友会
✿ 板垣 幸夫	1992年7月20日	高松医院腎友会
✿ 工藤 松太郎	1979年7月10日	東京健生病院サポテン会
✿ 依田 滋	1993年8月14日	個人会員
✿ 川端 佳正	1993年2月1日	聖橋クリニック腎友会
✿ 古市 義伸	1993年1月25日	虎の門会
✿ 小澤 徳雄	1993年1月1日	長久保ハナミズキ会
✿ 渡辺 秀人	1993年9月27日	ふれあい相互病院透析患者会 希望会
✿ 町田 千鶴	1992年11月5日	吉祥寺あさひ腎友会
✿ 安富 健治	1992年4月24日	吉祥寺あさひ腎友会
✿ 居本 慶子	1993年2月22日	昭島腎クリニックひまわり会
✿ 松尾 孝行	1993年6月26日	昭島腎クリニックひまわり会

\*対象導入年月日以外の方は今まで一度も掲載されていない方です



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F  
TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556



## ご寄付御礼

扶桑薬品工業(株)東京第一支店様  
ご寄付ありがとうございますございました。

## 青い鳥ハガキご寄付御礼

《患者会》

平山腎友会、高松医院腎友会

《個人会員》

(敬称略)

## 切手ご寄付御礼

## 今後の活動予定

- 1月13日(土) 東腎協三役会
- 1月20日(土)～1月21日(日) 全腎協理事会
- 1月21日(日) 第13回東京歩こう会(予定)
- 1月28日(日) 第192回東腎協理事会
- 1月31日(水) 第53次国会請願署名締切
- 2月3日(土) 第100回全腎協関東ブロック会議
- 2月4日(日) 多摩ブロック交流学習会
- 2月10日(土) 東腎協三役会
- 2月11日(日) 23区ブロック学習会
- 2月25日(日) 第193回東腎協理事会
- 3月7日(木) 東腎協三役会
- 3月9日(土)～3月10日(日) 全腎協理事会
- 3月14日(木) 第53次国会請願
- 3月17日(日) 第35回腎臓病を考える都民の集い
- 3月24日(日) 第194回東腎協理事会

たくさんのご寄付ありがとうございました。

## 編集後記

〇明けましておめでとうございます。と云っていいのか戸惑うような、元旦からの「能登地震」「JAL衝突事故」。お屠蘇気分も一気に覚めた。私が全腎協の事務局メールを在宅で管理していることから、早速、全腎協業務執行役員、理事に連絡を取り、災害対策本部を設置し被災状況の情報収集を開始しました。テレビは正月番組を中止し、津

波、火災、崖の崩落など次々と新しい情報が入ってきた。

透析患者の情報も、石川県腎協から第1報が入り、新潟、富山などで、透析難民が最大360人に及びましたが、厚労省、日本透析医会、透析医療機関の連携で、10日現在それぞれその県内で透析を受けているとのこと。なお、透析患者の死亡は0人でした。

さらに、翌日には羽田空港でJALと海保の飛行機衝突事故。それも災害物資を運送するための飛行らしい。JALの乗客、乗務員が全員脱出できたことは日頃の訓練の賜

物と拍手喝采だ。それにしても今年一年が思いやられる正月だった。

昨年は思いもよらず全腎協事務局長に任命され、車椅子で週2～3回は全腎協・東腎協事務局に通う一年だった。私は年明けで74歳になる。今年最後の団塊の世代として、悔いがない一年にしたい。

しかし課題は山積だ。全腎協・東腎協の組織問題は解決の糸口が見えない。恐らく今年中には両組織とも事務局移転、財政再建を余儀なくされるだろう。私の最後の大仕事になりそうだ。

## 〈事務局雑感〉

〇明けましておめでとうございます。今年は無事挨拶が出来て嬉しい限りです。今年の今頃はまだ事務局に復帰していなかったもので、挨拶ができなかったのです。

嬉しいと喜んでいる場合はなかったのです。元旦から石川県で大きな地震が起きま

した。テレビのアナウンサーが「津波です！今すぐ逃げてください！命を守る行動を」と、今まで聞いたことのない口調で叫んで（？）いた。震度7と表記されていたが、被害情報が入って来ないので大したことなくないと思っていましたら、

日を追うごとに状況が分かってきて、大きな地震だったと。

私の生まれ育った地域は地震があまり起きない所で、東京で震度3を体験した時は「私は何処へ避難するの？」と、思わず外を見ました。外を行きかう人は平気な顔をしていた。テレビをつけてどうすればいいのか情報を得ようとなりました。今では震度3くらいでは動じなくなりました。馴れって怖いですね。

元旦翌日は羽田空港で飛行機衝突事故が。海上保安庁機に犠牲者が出たもののJAL機の乗客・乗務員は全員、避難が出来て良かった。何故こんなことが起きたのだろうか。

大変な年明けとなったが、今年1年、無事に過ごしたいと思っている。（三好）

○新年、明けましておめでとうございます。会員の皆さま、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

1月1日、家族との新年の挨拶を済ませ、ほろ酔いの中、高尾山の薬王院に初詣に行った。10時過ぎ高尾山口駅に着き、薬王院までの道のりをケールカーやリフトも選択肢にあつたが、めちゃくちゃ混んでいたのので一号路を徒歩で登ることにした。薬王院でお参りし、高尾山山頂を目指した。高尾山山頂で富士山を写真におさめ帰路につく。登山客の大半が外国人客で、そのほとんどが中国人だった。お店や屋台はとても混雑していて、お土産を買ったのは、高尾山口駅近くの売店だった。家に着いたのが14時頃、お節とお雑煮を食べ、一休みをしている頃、石川県能登地方

を震源とするマグニチュード7・6の大地震がおき、志賀町で震度7の揺れを観測した。2011年3月11日の東日本大震災の記憶がよみがえる。

全てのテレビ局が北陸でおきた大地震の中継に切り替わり、正月特番の番組は全て中止となり、正月の気分は一瞬でなくなった。

大地震の全貌がわからないまま、一日が過ぎた。2日の夕刻、今度は東京の羽田空港で日本航空の旅客機が着陸した直後に海上保安庁の航空機と滑走路上で衝突して炎上し、海上保安庁の乗組員5人が死亡した事故が起きる。航空機に乗っていた乗客乗員379人は全員無事だったのは不幸中の幸いだったのか。

このたびの災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

(松山)



表紙の言葉

高尾山薬王院

高尾山の山腹に位置する「薬王院」。その歴史は古く、1200年以上前の744年に、東大寺の大仏造立で有名な「行基」によって開山されました。

正式名称は「高尾山薬王院有喜寺」といい、真言宗智山派の大本山であり、成田山新勝寺、川崎大師平間寺とともに関東三大本山のひとつです。

薬王院は不動明王の化身「飯縄大権現（いづなだいごんげん）」がご本尊です。

天狗が飯縄大権現の一族（従者）とされることから、高尾山は古くから天狗が住む山といわれ、境内には天狗の像や天狗をモチーフにしたオブジェがたくさんあります。

また、高尾山は山岳信仰に由来する修験道の山であり、今でも法螺貝の音が響き渡ります。様々なご利益を持つ薬王院は、パワースポットとして人気を集めています。

慢性腎臓病患者は全国で1300万人とも言われ、新たな国民病として正しい知識と治療法の理解が求められています。慢性腎臓病（CKD）は、「末期腎不全」のみならず心筋梗塞や脳梗塞など心血管疾患の原因でもあることもわかってきております。

健康診断を積極的に受け、腎臓病を早期に発見して治療すれば透析導入することなく、または透析導入を遅らせることができます。

講演Ⅰ 60分

# 慢性腎臓病(CKD)を 良く知ろう

～腎臓を守るために～

講師 **福井 亮** 先生  
東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 講師



講演Ⅱ 60分

# 今日から実践!

腎臓を守る食事療法のコツ

講師 **赤石 定典** 先生  
東京慈恵会医科大学附属病院 栄養部 管理栄養士



# 第35回 腎臓病を 考える 都民の集い



事前に質問用紙に質問事項を書いて頂き、先生方に回答していただきます。

令和6年  
日時 **2024年3月17日(日)**  
13:00～16:00 (開場12:30)

場所 **都議会議事堂  
1階 都民ホール**  
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1

**入場無料** 先着**200**名様 事前申込み不要

お問合せ **NPO法人東京腎臓病協議会**  
☎:03-3944-4048 Fax:03-5940-9556 E-mail:info@toujin.jp



交通  
J R 新宿駅西口 徒歩10分  
都営地下鉄大江戸線都庁前 徒歩5分  
J R 新宿駅西口巡回バスあり都議会議事堂(又は都庁第一本庁舎)下車

# 透析と介護 ふたつの安心

介護施設への  
入所が困難だった  
透析患者の方に  
グッド・ニュース

## 画期的な試みとして注目される介護施設内での人工透析

社会福祉法人むつみ会春陽苑は、介護老人福祉施設に医療施設「にこにこクリニック」を開設しており、介護と医療の両方から高齢者の方に安心をご提供しています。特に介護が必要な高齢の透析患者の方に、入所して介護を受けながら、人工透析室で、透析を受け生涯を過ごしていただくという画期的な取り組みは、全国でも例を見ないもので、現在注目を集めています。

また、24時間スタッフによる医療・介護の管理の下透析を行った結果、通常の透析患者に比べて状態がとても良好で、特養での管理の下で行う透析の効果があることもわかってきました。春陽苑は、介護が必要な透析患者の方にも、出来る限り透析を継続していただき、生きる喜びと輝きを持ち続けていただくことを願っています。

人工透析機を  
常設!



▶透析室



▶個室



▶春陽苑全景



▶診察室

### 施設概要

#### ●介護老人福祉施設

入所定員：124床(ショートステイ含む)  
事業内容：【入所事業】介護老人福祉施設  
短期入所生活介護  
【在宅事業】通所介護・在宅介護支援  
センター・居宅介護支援事業

#### ●桜木支所

事業内容：居宅介護支援事業・地域包括支援センター  
訪問介護

#### ●春陽苑にこにこクリニック

診療科目：内科・脳神経外科・腎臓内科・人工透析内科・皮膚科・精神科

#### ●介護老人保健施設 Lilyナーシングルーム

入所定員：100床(ショートステイ含む)  
事業内容：【入所事業】介護老人保健施設  
短期入所療養介護  
【在宅事業】通所リハビリテーション  
訪問リハビリテーション  
【障害福祉サービス事業】短期入所

### 入所料金 入所される方の生活状況により利用料が異なります。

参考事例「介護老人福祉施設春陽苑へ入所 要介護3(1割負担)の場合 (単位：円)

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
多床室	45,630	59,430	67,230	104,580

※保険単位数を基に少数を含む計算を行う為、実際の金額と異なる場合があります。 ※その他に電化製品を利用される方は1点につき、電気代が1,850円(30日)で1,500円がかかります。  
※上記の金額には、食費、日用品費、居住費、及び、体罰加 入居費は別にがかかります。  
昇降が含まれています。

### アクセス



●JR大宮駅西口から西武バス「5らぼーと富士見行」または「所沢駅東口行」で「治水橋境駅」下車、徒歩3分  
●JR池袋線指扇駅よりタクシーにて10分  
●東武東上線「福原駅」よりタクシーにて13分  
●お車の場合  
新大宮バイパス→三郷(3)の交差点を左折→県道56号線に入る→治水橋を越え一つ目の信号を左折し荒川沿いの建物

相談  
ダイヤル

【見学随時募集中】

TEL:048-625-0707

〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 FAX:048-625-0755

ホームページのお問い合わせフォームもご利用ください。

<http://www.mutsumikai.net>

透析 春陽苑 で 検索!